

国際文化交流サミットの実施報告

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2日間にわたって開催されました「未来へ文化を紡ぐ」国際文化交流サミット（主催：特定非営利活動法人世界のきずな文化交流協会、共済：志摩市商工会および志摩市国際交流協会）が、無事に終了いたしましたので、謹んでご報告申し上げます。

このイベントは、海の豊かさとともに築かれてきた文化を育んでいくこと（伝承）、そして在住する人々が共存していける地域にしていくこと（共生）を目的として、産官民が一丸となって地域の内外に声を出して開催いたしました。

期間中は、志摩市商工会と三重テラス(東京)において、志摩市内の諸団体(文化協会・写真連盟・高校美術部や卒業生会・伝統文化会・絵画クラブ・ものづくり委員会・生け花・ほか)と著名な各方面の作家や新進作家の方々、志摩市に所縁のある県内や関東在住の高名な作家たちの作品の同時展示を行うとともに、各国（サウジアラビア王国、ベトナム社会主義共和国、マレーシア、タイ王国）をオンラインで結んだ国際的な文化交流を実施。

オンライン国際交流にパネリストとして参加して頂いた方々（志摩市商工会長、志摩市観光協会長、志摩市議会議員、主催理事長）を始めとして、アドバイザーとして参加して下さった方々（三重県議会議員、アジアインバウンド協会理事、地域活性DMO伊勢志摩観光コンベンション機構専務理事、文化芸能全国会の副理事長など）から、それぞれの分野での確かな洞察による発表やコメントを頂戴したことで、互いの国の魅力と文化の違いを知る得る機会となると同時に、伊勢志摩エリアが持つポテンシャルを内外にお伝えすることができました。

また、来賓のご挨拶（衆議院議員や副知事、志摩市長など）のお言葉からも大変深い意味合いを感じ取ることができ、更には前大臣政務官の参議院議員も応援に駆けつけてくださるなど、市民のみならず産官民の協働による取り組みが必要であることを実感することができました。

無事に同イベントを終えることができましたのも、皆様の応援があつてこそと心より感謝申し上げます。

多種多様な文化の協奏が「生きがいを感じられるまちづくり」へ繋がることを願って、今後もより一層精進して参ります。この度はご協力誠に有難うございました。

敬具

関係者一同

志摩と三重アラスで国際文化交流の催し
オンラインで式典

文化や芸術を通して国際交流を図る「国際文化交流サミット」が14日、志摩市商工会館と東京・日本橋の三重アラスで始まった。15日まで。

志摩の豊かな魅力を国内外に広く伝えようと、志摩市のNPO法人「世界のさえずり文化交流協会」が初めて主催。開幕セレモニーは両会場をオンラインでつなぎ、三重アラスで協会の塩本智幸理事長(67)があいさつした後、市や県の観光関係者ら計17人が両会場でテープカットをした。

両会場には、海や水テーマに市民らから募った作品が展示され、絵画や写真、陶芸など合わせて約100点が並んだ。外国の歴史や文化を学ぶ催しもあり、サウジアラビア、マレーシア、ベトナムの3カ国について、各国の政府観光局の担当者などが紹介した。

15日の展示は志摩市商工会館で午前9時～正午、三重アラスで午前10時～午後6時。観覧無料。(大高千奈)

絵画や陶芸などの作品が展示されている会場
志摩市商工会館で

